



瀬田の丘

創刊 1973年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部
東京都世田谷区瀬田 4-16-1

ミサの時間：月曜日-土曜日 6:20am（「朝の祈り」に続いて）
日曜日 7:00am、8:30am、9:30am



わたしには夢がある

主任司祭 小西 広志 神父

「わたしには夢がある」と語ったのはマーチン・ルーサー・キング牧師でした。実は、わたしにも夢があります。瀬田教会がこうなったらいいなという小さな夢です。夢の話に少しおつき合ってください。

子どもたちが遊べる教会

瀬田教会の伝統と断言してよいでしょう。わたしたちの教会には、いつも若い人々がいました。特に子どもたちとその家族がいました。この伝統が途切れることのないようにしたいです。ミサの中で子どもたちがいることは大きな喜びです。そして希望です。この子たちに信仰を伝えるためにわたしたちはいるのです。子どもたちとその家族を暖かく見守り、よく導き、そしてほめる、祝福する。こうして次の世代に教会が伝わっていきますように。

信仰の先達を大切に

教会の多くの兄弟姉妹を見送ってきました。その方々の信仰の体験をうかがっておけばよかったと反省しています。しかし、司祭一人では限界があります。みんなで信仰の先輩であり人生の先輩である兄弟姉妹たちとの関わりを豊かにできたらよいと願っています。また、これまでの主任神父さんとのいろいろな交わりの思い出があると思います。そんな思い出話を聞かせていただく機会がありますように。

出会いと交わりを喜びあう

いわゆるコロナのおかげで教会の活動がかなり制限されてしまいました。バザーもしていませんし、コーヒースタンドもできません。ある催し物が開催されないまま二年以上経過すると、それを復活させるのは難しいというのが一般的な考えです。そうしますとバザーの再開は難しいと考えます。また、かつてのような教会活動を行うことは難しいと思います。しかし、教会は「交わり」の場ですから、何か人と人が出会うチャンスがほしいです。幸い、アントニオ会館のリフォームも年末には終わりますから、小規模でもいいですから、コーヒーを片手に交わる場面を作りたいです。

こころのこもったミサ

朗読の当番、共同祈願の当番を辞めました。これはわたしの独断でした。その代わりに、みんなで協力し合っ

てミサをしていることを際立たせるために、朗読者をミサのたびに募っています。共同祈願はみんなで唱えます。朗読の奉仕に積極的に参加していただけたらありがたいです。ミサが滞りなく進行していくのも美しいものですが、つかえながらも失敗しながらもミサを、こころをこめてささげる、そちらの方が瀬田教会にはふさわしいように思っています。その代わり、こころをこめて司祭と信徒が一緒にミサをささげているという雰囲気をつくりあげたいです。

うれしいこと悲しいこと

司祭としてうれしいことは、誰かの喜びにあずかることです。結婚します、子どもがうまれます、洗礼を受けます、などなど、嬉しい人生ですがちょっとした喜びがあります。車を買いました、仕事が順調です、病気が治りました、などなど。そんなちょっとした喜びを分かち合っていたら司祭としてとてもうれしいです。司祭として悲しいことは、信者さんが教会の誰にも知られずに亡くなることです。自分の力のなさを痛感します。うれしいことがたくさんありますように。悲しいことが少なくありますように。

貧しい人々と共に

円安が続きます。物価があがります。しかし、所得は増えません。生活はますます苦しくなるでしょう。海外旅行は夢の夢。国内の旅行でも大変。そんな時代が間もなくやって来ます。もう始まっているかもしれません。でも、これはいいチャンスかもしれません。苦しむ人、貧しい人と共に生きていけるようになるからです。

わたしは、毎月、葛西教会を訪問して、ベトナムの兄弟姉妹たちのために物資を運んでいます。多くの方々に協力してもらっています。本当にありがとうございます。このベトナムの兄弟姉妹たちは、主にベトナム中部の農村地帯出身です。貧しさの中で生まれ、教育のレベルも低いところで成長してきました。彼らは英語が話せません。英語が話せるベトナムの若者はフィリピンやオーストラリアに出稼ぎに行けます。しかし、英語が話せない彼らは日本にやって来るしかないのです。スーパーの鮮魚売り場、お弁当売り場の後ろの方で女の子たちは働いています。一日中立ち仕事です。解体工場の現場、コンビニのお弁当工場、男の子たちは働いています。必死に働いて一年半で日本入国のために借りたお金をブローカーに返します。そして残りの二年間で働いたお金を地元へ送金します。家族を助けるためです。

日本は貧しくなります。貧しいわたしたちが、同じように貧しいアジアの青年たちのために支援するのはとても大切なことだと思います。細々とでもいいから、ベトナムの兄弟姉妹たちのために援助が続きますように。そして、わたしたちが彼らにとっての隣人となれますように。

以上、夢物語でした。キング牧師の夢は完全ではないかもしれませんが、実現していきました。いまでも実現しつつあります。夢の実現のために生きることができるようになりますように。夢をあきらめないで過ごすことができますように。わたしの夢に共感してくださる方が現れてくださいますように。